

Moses

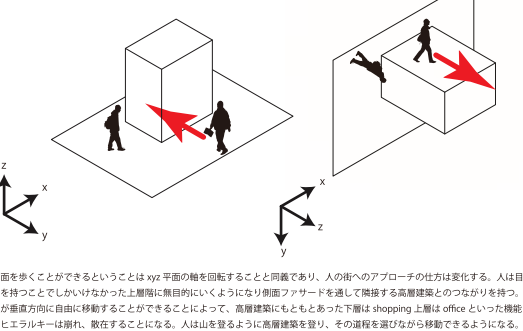
～どこまでも歩いていくということ～



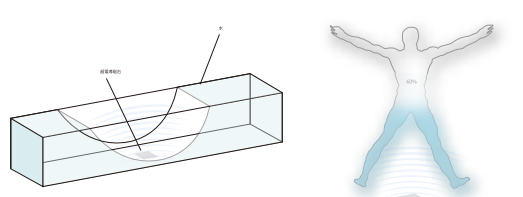
Introduction

現在の高層建築物の移動は効率性と時間の有効利用を重視した「場所から場所へ」、移動装置を使った「点から点へ」の移動となっている。点から点への移動は効率的であるが、そこには時間の有効利用として切り捨てられた道程というコトリが内在されている。私たちはより効率化された点から点への移動ではなく、移動が主目的となる余白を内包し、人の生活にコトリを持たせる面としての移動方法を提案する

Diagram

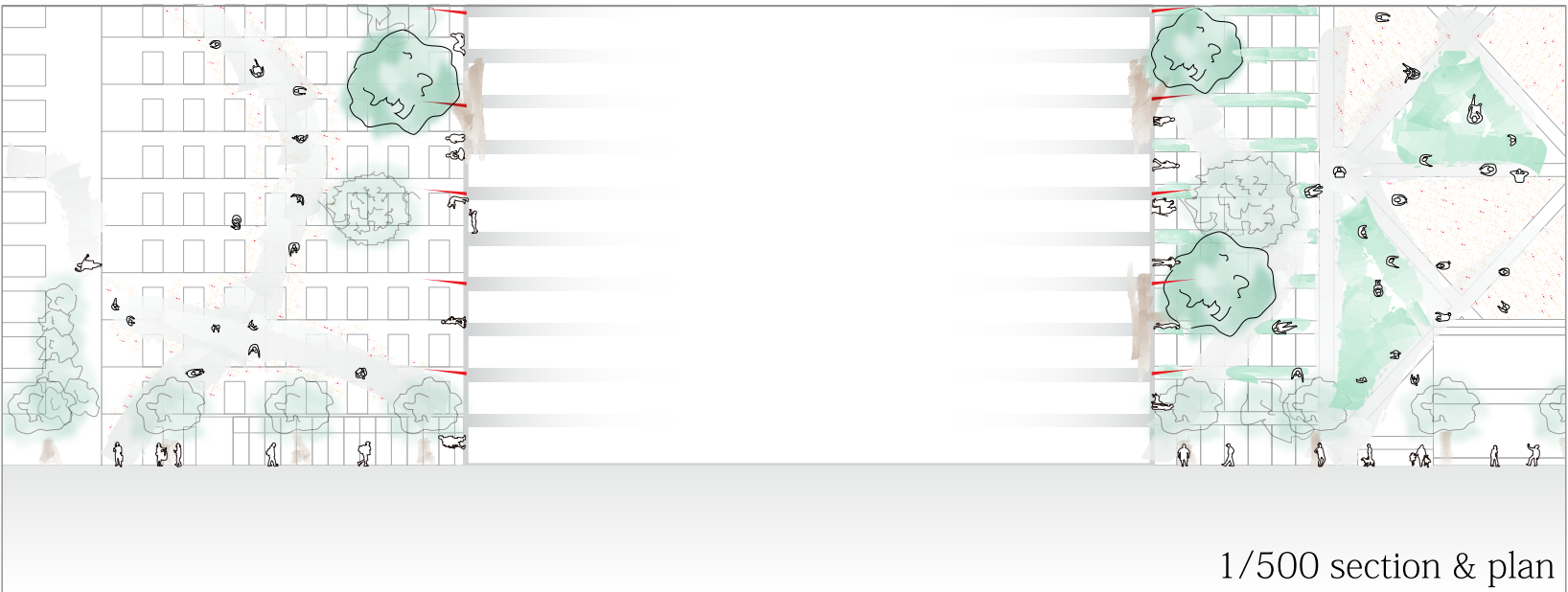
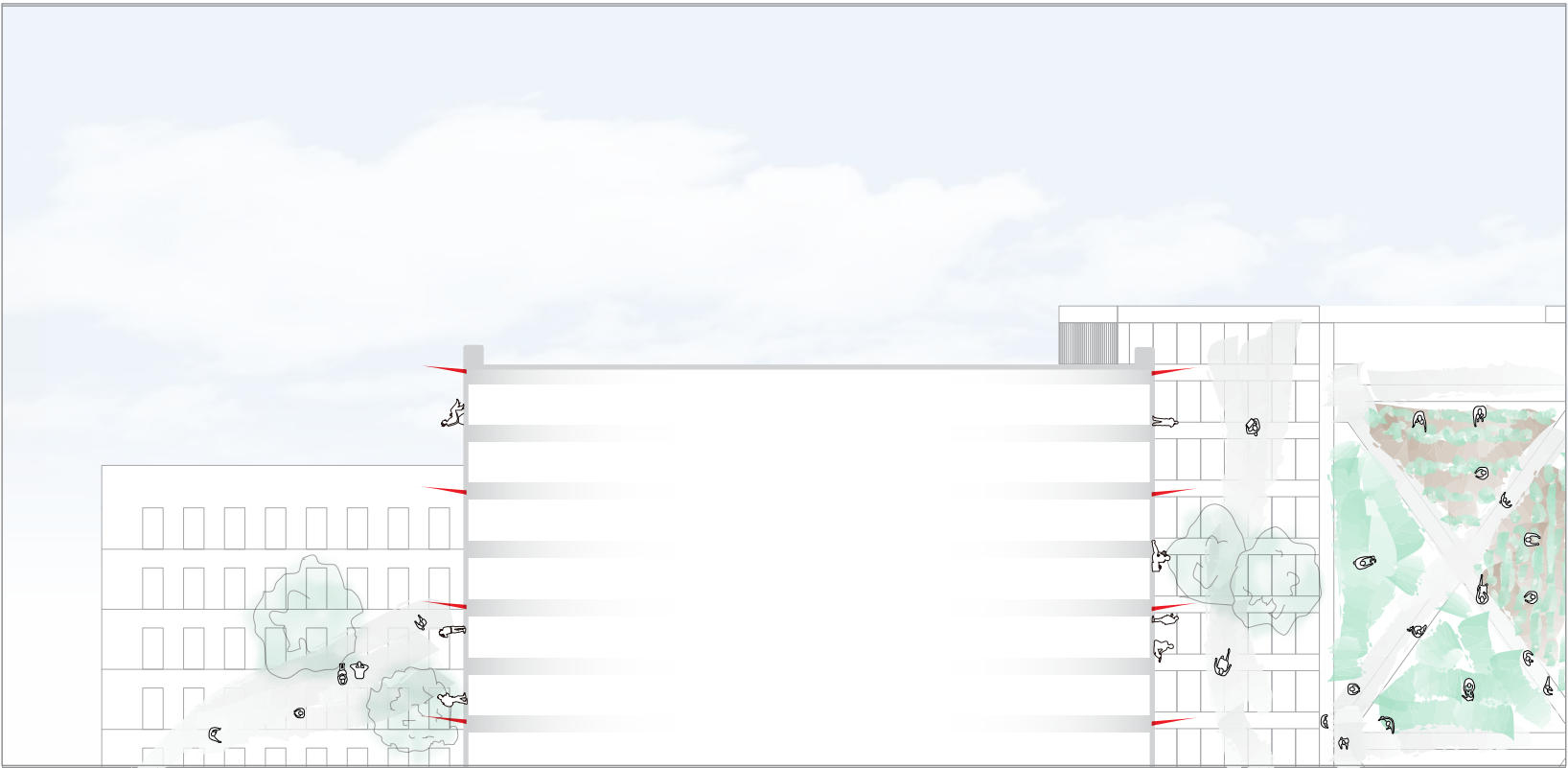
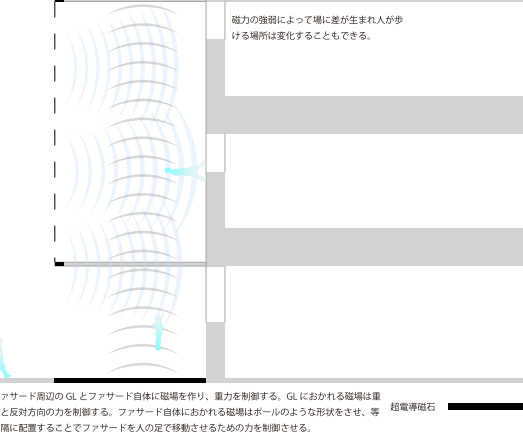


Moses effect



水は反磁性であるために、強力な磁場中におかれると、磁場から遠ざかる方向に移動する。磁場強度をスラスラに及ぶ超電導磁石を用い、水で半分は満たした容器をこの面にセットすると、水面が断たれて両側に水の層ができる。旧約聖書の出エジプト記の、モーゼが紅海を分けてイスラエルの民を渡らせたという説述に因んでこの現象を、モーゼ効果と呼ぶようになった。

system



Moses

～どこまでも歩いて行くということ～

■導入 ～面としての移動の創出～

現在の高層建築群の移動は効率性と時間の有効利用を重視した「場所から場所へ」、移動装置を使った「点から点へ」の移動となっている。点から点への移動は効率的であるが、そこには時間の有効利用として切り捨てられた道程というユトリが内在されている。私たちはより効率化された点から点への移動ではなく、移動が主な目的となる余白を内包し、人の生活にユトリを持たせる面としての移動方法を提案する。

■背景 ～街とよばれるために～

2009 年現在東京は高層化が進み新宿、丸の内をはじめ高層の街並みが形成されている。高層の高さ争いは激しさを増し、GL を置き去りに増え続ける。高層の高さは重量を支える構造だけによって決まるのではなくエレベーターの速度でも決定される。現代の高速エレベーターは時速 60km/h とほぼ車並みの速度に到達している。これは高さ 1000m の超高層を可能にする。この 50 年後の未来、EV、ES が高速化することによってさらに高層化していくことになるだろう。

しかし、この垂直移動は垂直距離を短絡し、移動は長距離の点から点を結ぶのみである。人の移動経路は点から点への移動という固定された空間によって拘束され、人は移動の選択肢を奪われていく。街の風景を見ながら歩き回るといった人々にとっての選択肢の自由な移動は少しずつ消去されている。

□～散策という人ならでの移動方法～

街が「人が生活するための街」として成り立つためには人が己自身で目的地までの道筋を散策し、街として認識されることが必要不可欠である。現在の高層建築群は、効率化された EV や ES などの点から点への固定された移動方法しかなく、人によって散策されることはない。

移動方法が発達し、効率が向上すると仮定しても、人は効率性だけでは生きてはいけない。高層建築群に対し点から点の移動ではなく面の移動を可能にすることによって人に道程を目的とすることができるような散策、ユトリを与えることはできないだろうか。

■提案 ～軸の回転による風景の創出～

高層建築群は垂直であるため、どうしても垂直動線が必要になり、移動方法が固定されてしまう。点から点の移動。移動の選択肢を自由にするためには、面としての移動が必要となる。高層建築の側面ファサードを利用し、その場の重力を制御する。側面を自分の足で移動することが可能になり、地面と側面ファサードは地続きのように連続体となる。この

移動方法を用いることによって、高層建築群は地面との接点を持つこととなり、垂直方向にも選択肢の自由な面としての移動ができるようになる。

□軸の回転による効果 ～アプローチ～

側面を歩くことができるということは xyz 平面の軸を回転することと同義であり、人の街へのアプローチの仕方は変化する。人は目的を持つことでしかいけなかった上層階に無目的にいくようになり側面ファサードを通して隣接する高層建築とのつながりを持つ。人が垂直方向に自由に移動することができることによって、高層建築にもともとあった下層は shopping 上層は office といった機能のヒエラルキーは崩れ、散在することになる。人は山を登るように高層建築を登り、その道程を選びながら移動できるようになる。

□システム ～アプローチの方法～

モーゼ効果(Moses effect)を用いることで高層建築のファサードの周りの重力を調節し、ファサードを人の足で移動させる。

モーゼ効果とは、水が反磁性であるために、強力な磁場中におかれると、磁場から遠ざかる方向に移動する現象のことを言う。磁場強度 8 テスラに及ぶ超電導磁石を用い、水を半分ほど満たした容器をこの中心部にセットすると、水面が分割されて両側に水の壁ができる。旧約聖書の出エジプト記の、モーゼが紅海を分けてイスラエルの民を渡らせたという記述に因んでこの現象を、モーゼ効果と呼ぶようになった。人間の体の 60%は水でできており水が超電導磁石から遠ざかる方向に移動するなら人間の体も移動するはずである。この原理を用いる。

ファサード周辺の GL とファサード自体に磁場を作り、重力を制御する。GL におかれる磁場は重力と反対方向の力を制御する。ファサード自体におかれる磁場はポールのような形状をさせ、等間隔に配置することでファサードを人の足で移動させるための力を制御させる。磁力の強弱によって場に差が生まれ人が歩ける場所は変化していく。

■50 年後、高層建築群は…

高層建築群の側面には人の様々な行為が表出するようになり、高層の街に多くの視点がつくられる。壁から内部に入る人、壁を走り回り遊ぶ子供、壁を渡り歩き散歩する老人、それを地面から眺め、どこに行くかを歩きながら決める若者、それぞれが異なった視点を持って自由に移動する高層の風景が創出される。

